



The service club to the YMCA

# THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ  
〒662-0977 西宮市神楽町  
5-23  
西宮 YMCA 内  
Tel (0798)35-5987



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2022年2月会報 第398号

## 主題・標語

国際会長(IP) Kim Sanche (Korea)

主題 世界とともにワイズメン Y's Men with the World

スローガン 愛と尊厳で世界を癒やそう Heal the World with Love & Dignity

アジア太平洋地域会長(AP) 大野 勉(神戸ポート)

主題 100年を超えて変革しよう Make a difference beyond the 100th

スローガン 健康第一! Be healthy!

西日本区理事(RD) 新山兼司(京都トップス)

主題 未来への挑戦 Challenges for the future

スローガン 羽ばたこう! 2022年ワイズ 100周年に向かって

六甲部長 大野智恵(神戸ポート)

主題 寄り添い、分かち合い~『三方よしで、みんな笑顔』

Snuggle up and share with you~"Smile on each side"

宝塚クラブ会長 福田宏子

主題 健やかに、多くを愛でて、朗らかに Live well, Love much ,Laugh often!

<p>今月のテーマ : TOF(断食のとき) 飢餓に苦しむ人の為にそのお金を、例会の食事を抜きそのお金を支援しましょう。</p> <p>地域奉仕・環境事業主任 河原正浩 (京都トップスクラブ)</p>	<p>2021~2022 役員</p>	<p>会長 福田宏子 副会長 小林康男 書記 武田寿子 会計 小林康男 郡家 学 会計監査 加藤光信 吉田 明 担当主事 橋本 唯 メネット連絡 小林貴美子 六甲部Y's 若林 成幸</p>
<p>2022年2月例会(ハイブリッド) 日時 : 2022年2月23日(祭)14:00 場所 : ラララホール(阪急門戸厄神) 会費 : 500円 ドライバー 福田素子 橋本唯 開会点鐘 福田宏子会長 ワイズソング 全員 聖書朗読 加藤光信 祈 禱 長尾 亘 ゲスト・ビジター紹介 会長 会食 (なし) お 話 秋沢マリー氏 管理栄養士、健康料理研究家 「日本が一番の長寿国になれた理由」</p> <p>各委員会報告 YMCA報告 誕生日のお祝い 会長 ニコニコファンド 閉会点鐘 福田宏子会長</p>	<p>2月 誕生日</p> <p>1 月 実 績</p>	<p>吉田早苗(10) 福田 肇(11) 風早寿郎(16)</p> <p>例会出席者数 21名(ズーム3名) 在籍会員数 20名 出席会員数 14(ズーム0名) 出席率 90% メイクアップ(内数) 0名 メネット・コメット・孫メット1名(ズーム0名) ゲスト・ビジター 4名(ズーム2名) 例会充足率 105% アソシエイト会員 3名(ズーム1名)</p> <p>ここにこBOX 8,000円 累計 32,300円 ファンド(豚肉他) 0円 (真菰茶) -28,500円 累計 14,920円</p>

## 聖句

「<sup>30</sup> それゆえ、イスラエルの家よ。わたしはお前たちひとりひとりをその道に従って裁く、と主なる神は言われる。悔い改めて、お前たちのすべての背きから立ち帰れ。罪がお前たちをつまずかせないようにせよ。<sup>31</sup> お前たちが犯したあらゆる背きを投げ捨てて、新しい心と新しい霊を造り出せ。イスラエルの家よ、どうしてお前たちは死んでよいだろうか。<sup>32</sup> わたしはだれの死をも喜ばない。お前たちは立ち帰って、生きよ」と主なる神は言われる。」  
エゼキエル書 18章30－32節

## 随想

バビロニア帝国と戦って敗戦の宣告を受けたと言ってもいい B.C.598 年、エゼキエルは「第一次捕囚」としてバビロニアに連れ去られました。そして、そこで暮らして 5 年の時、神から預言者としての召命を受けます。エルサレムの陥落や故郷の亡びを噂で聴く中で、捕囚として連れて来られバビロニアに住んでいる同胞に向かって、神から預かった言葉を語りました。

「悔い改めて、お前たちのすべての背きから立ち帰れ」(30 節)。

そして、エゼキエルは、神から受けた言葉を聴く人々に警鐘を鳴らします。「ひとりひとりをその道に従って裁く」(30 節)と。

神は、捕囚で連れて来られた民のひとりひとりをご覧になっています。ひとりひとりが問われているのです。群衆の中に埋没できず、ひとりひとりの責任が求められたのです。「悔い改めよ」「立ち帰れ」。あの人がこの人がそれをするわけではありません。あなたがそれをするように。

強制ですか。いいえ。「イスラエルよ、どうしてお前たちは死んでよいだろうか」(31 節)。32 節でもたたみかけるように、「わたしはだれの死をも喜ばない。お前たちは立ち帰って、生きよ」と言います。

このところから、神は、誰が悪人で誰が正しい人であるかを既に定めておられる方ではないことが分かりませんか。神はひとりひとりに期待を持っておられるのです。あの人もこの人もそれぞれが私のところに帰ってくるように。他人がしたから私もするものではありません。自分が決断して神のもとに帰るのです。

そんな私を、神は今も期待して見つめてくださっています。そのまなざしを感じますか。

浦上結慈

## 1月例会報告

2022 年 1 月 12 日 (水) 18 時 30 分、新年初めての例会、福田宏子会長の点鐘で始まりました。いつもの例会場所であった宝塚市西公民館が 5 月まで休館で、その間宝塚教会のご厚意で行う事が出来ました。感謝です。

新年初めての例会は、宝塚教会浦上結慈牧師に、「カクレキリスタン」と題して、「日本二十六聖人」殉教



の出来事を中心に映像と、豊富な資料を基に大変興味深いお話を伺いました。日本でのキリスト教布教が 1549 年イエズス会によってはじめられ、その後、スペイン系修道会のフランシスコ会が伴天連追放令にもかかわらず、布教し秀吉のキリスト教への不信感と、恐怖心をあおり、秀吉は京都奉行の石田光成に命じて、京都や大阪に住む 24 人を捕縛、処刑することが決まった。処刑は長崎の西坂の丘でおこなわれることになり、



片耳を切り落とされ、厳冬の中、京都、大阪から歩いた工程が今も記録に残っている。道中で自ら志願した 2 名も加わり 26 名が 1597 年 2 月 5 日多くの群衆が見守る中で処刑されたという。その後遺骸は日本最初の殉教者として世界各地に送られ、崇敬をうけ、ローマ教皇ピウス 9 世によって列聖されたという。それを記念し、西坂の丘に船越保武政策による「日本二十六聖人記念館碑」がたてられた。その後江戸末期開国後、竣工した大浦天主堂は、日本 26 聖人にささげられた教会で、プチジャン神父の強い意志で、天主堂の正面には漢字で、「天主堂」書き記されているが、これは潜伏中の隠れキリスタンを探し出したい、また日本に宗教の自由が認められたら多くの日本人が改宗するであろうという期待が込められていたという。またカトリック高槻教会は高山右近記念聖堂であるが、ここにも日本 26 聖人殉教の碑があるのは右近自身が殉教を望んでいたためであるという。最後に遠藤順子さんの殉教者は初穂なのかと疑問を投げかけていることにも触れられ大変興味をひかれた。当時のオルガンチ



ーノ神父が、「これは我々の宣教の初穂であるという感覚に疑問を投げかけていることに共感をしました。神父たちが説いた教えを信じた人々が人生最大の苦難にあい、拷問を受け、処刑されたことを「初穂」と受け止める神経とキリストの愛は全く正反対の方向を向いているのではないのでしょうかと述べておられます。殉教や 26 聖人をほめあげ、軽々しく聖人とかたずけてしまうには、あまりにも重い出来事なのではないかと、お話を伺いながら感じました。

そして、いつものように誕生日のお祝い、誕生日のお祝い各委員会の報告、YMCA 報告、を行い、定刻の 20 時 30 分に閉会点鐘で終わりました。

武田寿子

## 1月第2例会報告

1月19日(水)午後、1月第2例会は、門戸荘ララホールで行い、福田会長・小林・郡家・長尾・加藤・吉田・若林・多胡・石田・今田・福家・鯖尻・矢部 計13名が出席した。議事要旨は次の通り。

### 1) 例会予定

- 2月9日(水)6:30~8:30p.m. 宝塚教会:卓話:秋澤 マリー氏「日本が一番の長寿国になれた理由」、  
ビューティーニーズ代表:管理栄養士/健康料理研究家、  
会費:¥1,500 コロナ感染拡大に鑑み食事なし、お土産(健康食品)を準備(世話係:矢部)
- 3月9日(水)6:30~8:30p.m. 宝塚教会:卓話:田村博美氏「宝塚の都市作りと西谷の役割」、  
武庫川がっこう代表、宝塚スケッチ会代表、
- 4月13日(水)6:30~8:30p.m. 場所未定 卓話:萬田悠介氏「和菓子の心」、御菓子司 虎屋末吉 8代目  
当主
- 5月12日(水)6:30~8:30p.m. 宝塚教会 卓話:「鯖尻昌史氏英国で経験したこと」(仮)(鯖尻メンの長男)

### 2 新たなファンド

多胡・矢部さんから、真菰茶繫がりて懇意の農家が栽培する「菊芋」をファンドに利用の提案。説明を受け2~3月例会にて試すことになった。菊芋…「天然のインシュリン」といわれる「イヌリン」を豊富に含んでいることから、美容や健康面から注目を集めている野菜の1つ。販売シーズン終了後、在庫処分対象品の再利用。SDGs12「廃棄物の削減」に貢献。

### 3) 国際選挙投票:1月29日

国際選挙について協議し次の投票を決定した。次期国際会長:デビッド・ルア氏  
(シンガポール)、次期アジア太平洋地域国際議員:利根川恵子(川越クラブ)

### 4) 事業委員会報告

- ① 交流:1月22日(土)六甲部 EMC シンポジウム、合同新年懇談会——延期  
2月5日 奈良クラブ 70+1 周年記念——中止  
6月、第25回西日本区大会:新たな変異種の感染拡大を懸念し6月11日(土)のみの単日開催に変更された。詳細別途。  
\*デジタル小委員会経過報告(別記)
- ② Yサ: 主要行事としていたチャリティーランは11/23に規模縮小してリアル開催をしたが、YYYフォーラム(例年2月上旬)・ピンクシャツデー(2月下旬)の開催の目処は立っていない。神戸YMCA内の該当委員会発足の立遅れや従来の「日程ありき」的運営の見直し機運が背景にある。  
YMCA:留学生支援:スピーチコンテスト支援金¥5,000 支払い済。  
コンテストの日程:3月4日(金)9:00~12:30 Zoomによるオンライン。
- ③ 六甲部:2月23日(水・祝)10時〈Week4Waste/ピンクシャツデー〉生田川公園ゴミ拾い活動  
11時 生田川公園内にて Ys100 周年記念植樹 2

## 5) ブリテン

編集方針に従い寄稿分担を確認した。原稿締切りは 2/28

## 6) 例会会場を宝塚教会を使用することに関し、

- a) コロナ禍におけるゲスト等の扱い:教会ホールの場合、入室者を最大 25 名とする。これを超えることが見込まれる場合、ゲスト等に丁寧に説明し了解を得ること、及びチラシに明記すること。
- b) 教会役員の意見:ワイズの使用に関しては教会役員会で承認済みであり、現に苦情等はない。
- c) 教会使用のお礼(献金):公民館使用料をもとに 5,000 円とする。

## 7) 会計中間報告

小林会計担当から 12 月末現在の収支の実績報告と下半期の支出予定が示された。市民クリスマス剰余金 12,706 円に Y サポート献金予算の一部を充当し、計 5 万円を「留学生支援献金」として支出することを了承した。

## 8) 宝塚クラブ次期役員及び事業委員(案)

福田会長の人事案をもとに協議を行い、次の通り了承した。

会 長 小林康男、

副会長 郡家 学、

書 記 武田寿子

会 計 郡家 学、小林貴美子

監 査 吉田 明、加藤光信

メネット連絡:小林貴美子、担当主事:橋本 唯、

直前会長: 福田宏子

Yサ・ユース : (長)若林成幸 武田寿子、

地域奉仕・環境: (長)多胡葉子、 青柳美知子、今田和子、風早寿郎

国際・交 流 : (長)石田由美子 杉谷和代、福田 素子

E M C : (長)鯖尻佳子 長尾 亘

広報・ブリテン : (長)長尾 亘 福家清美、重松えみり

ジャガイモ : (長)郡家 学 外に委員若干名

N G O : (長)福家清美 鯖尻佳子

市民クリスマス : (長)若林成幸、長尾 亘、多胡葉子、石田由美子、

なお、次期六甲部として、部長:若林成幸、書記:多胡葉子、会計:長尾 亘が決定している。

## ゲストプロフィール

### マリー秋沢

有限会社 ビューティーニーズ 代表

一般社団法人日本ニュートリションフーズ協会 代表理事

管理栄養士／健康料理研究家／調理師／インナービューティスペシャリスト



20 歳でミス・ユニバース近畿代表に選ばれ、その後アメリカで美容家との交流を通じ、内側からの美、“インナービューティ”の大切さを実感。日本で初めて美容業界に浸透させる。健康でいること＝美しさを維持。というテーマを食べ物や栄養素(サプリメント)の重要性、そして時代に合った栄養の知識を広め伝えている。健康、免疫力維持、生活習慣病予防、アンチエイジング、長寿などをキーワードに、充実した食と栄養そしてライフスタイルを提案する機関として、現在は日本ニュートリションフーズ協会を立ち上げる。2013 年に糖尿病の父の食事を低糖質料理で改善させたことをきっかけに、糖質オフの料理本を4冊出版。その後、ダイエット、アンチエイジング、血糖コントロールが必要な方に向けてローカーボフーズ検定講座を実施。現在は、健康経営に力を入れる企業様を中心に、従業員の皆さんの健康維持や病気予防にお役に立てるようにローカーボフーズ検定講座をご紹介している。

### \* 演 題 \*

「日本が一番の長寿国になれた本当の理由」

## 六甲部デジタル小委員会進捗状況報

今年度六甲部第2回評議会で承認された表題の小委員会は、デジタル化による六甲部の業務簡略化で確実な運営を目指す、と言う目的で結成されました。

目標として、

1. 各メンバー、及びクラブの IT 技術の向上
2. 将来、ロースターのデジタル化

メンバーはクラブから1名ずつ固定し、希望者は誰でも参加できるオープン方式で、月1回開催、委員長は大岩雅典ワイズ(芦屋クラブ)です。

第1回は2021年9月22日にZOOMで持たれ各クラブの例会状況がZOOM活用か否かよってかなりの差がある事を認識しました。

理由はメンバーがオンラインに積極的かアレルギーか、が大きな要素ですが、例会は対面でやるものと言うクラブの考え方もかなりの比重を占めていました。

その後新年1月10日の会議までの4回で、

1. 例会の在り方はクラブの考え方を尊重し必要であれば大岩委員長がヘルプに行く
2. 業務簡略化のため六甲部 HP に資料庫を作り必要に応じてダウンロードする  
但し西日本区 HP 資料庫内のファイルとは重複しない六甲部独自のもの
3. それに伴い現在の HP を利用しやすいように改造する(各クラブ例会情報、部活動報告など)と具体案が承認されました。

HP 更新は広報委員長(今期は杉本隆人ワイズ)が主管になり、神戸 YMCA の功力氏の協力を得る、当委員会はアドバイザーとして提案するという運用です。

当初の目的のロースター電子化については西日本区との協働が前提であるので将来の課題とし、部として結論を出すための情報を準備して行くとの認識です。

次期、宝塚クラブは部長輩出クラブになりますので是非一度毎月第 1 月曜、19 時からの ZOOM 会議にご参加下さい。

石田 由美子

## 他クラブ訪問

### 西宮クラブの例会に参加

1月14日(金)午後18:30～開催された西宮ワイズメンズクラブ一月第一例会に出席しました。スピーカーが我がクラブの若林成幸ワイズ。演題は「棒を振り続けて 17 年」と題して宝塚市民クリスマスが17年間続いているいきさつなどに関するスピーチ。



まず初めに西宮クラブからの支援金をいただいたお礼を述べられてスピーチが始まった。

キャロルを歌う夕べとして開催されていたクリスマス行事を宝塚クラブが地域活動の一つとして引き継ぎ 17 年。関わってくださった多くの方々がまさに One Christmas としてみんなで作り上げてきたコンサートをパワーポイントで今年のベガでの様子を示しながら語られた。そのスピーチを聴きながら最初から関わってきた者の一人としていろんな思いが胸に浮かび改めてこのような機会を西宮クラブ

が与えてくださったことに感謝であった。西宮クラブのメンバーから宝塚クラブの素晴らしい働きを改めて知ることになり、来年には是非参加したいとの嬉しいお言葉も聞けました。

このベガでのクリスマスコンサートの資金集めのためにも宝塚クラブは新しくファンド事業として真菰茶の販売をはじめましたと、前日袋詰めをした真菰茶を持参してみなさまにお買い上げいただきました。寒い日の西宮クラブの例会日への出席は素敵なスピーチと共に心温まる皆様方からの支援もいただき感謝して帰路に着きました。



多胡葉子

## 臨時役員 Zoom 会議事要旨

日 時 : 1 月 27 日 (木) 19:00 - 20:10

出席者 : 福田(宏)、若林、長尾、多胡、石田、小林、武田

1. 2 月第一例会は 23 日、14 時からに変更、午前中の六甲部行事参加者も参加できる。

場所: ララホール、ハイブリット例会とする。会費: 500 円 TOF については予算化してあるので、クラブから支払う。ゲストスピーカーへの変更確認は多胡が連絡して返事待ち、決まれば福田会長からメールにて会員に例会日時、場所の変更を周知する。

2. 第 2 例会は 16 日、Zoom にて 19 時から実施する。

3. 30 日次期六甲部キャビネット会の打ち合わせは 19 時から Zoom。

その他、宝塚教会への例会変更の連絡は多胡がする。

書記 武田寿子



YMCA ニュース

### 【第 13 回 神戸 YMCA・コミュニカ学院スピーチコンテスト】

昨年度のスピーチコンテストは新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、オンラインでの開催となりました。未だに入国できない学生がいるため、今年度もオンラインで開催いたします。

このコンテストは、日本語を学ぶ学習者が、日本での経験や見分などをテーマとしてスピーチを行い、日ごろの成果を披露するとともに、地域の方々に彼らの存在をより深めていただくことを目的としています。日頃よりご支援いただいております皆さまのご参加が、学生たちにとって大きな励みになります。ぜひ彼らの声を聴いていただければ幸いです。

zoom 参加希望の方は、2 月 14 日 (月) までに橋本 (yhashimoto@kobeymca.org) にお知らせください。よろしく願いいたします。

日 時 : 2022 年 3 月 4 日 (金) 9.00-12.30

形 式 : ZOOM によるオンライン開催

主 催 : 神戸 YMCA/コミュニカ学院

協 賛 : 神戸日本語教育協議会

連絡担当 橋本 唯



2021～22 年度の活動も後期に入りました。つきましては、後期会費の納入をお願いします。  
なお、前期会費未納の方は、合わせて納入していただくようお願いします。

(振込先)

三菱 UFJ 銀行 宝塚中山支店 普通預金 4585836  
宝塚ワイズメンズクラブ

会計 小林 康男

### 編集後記

1 月例会が無事終わり、直ぐに 2 月ブリテンの準備に入りましたが、オミクロン株で感染者数が急速に増えて、さらに。「まん延防止措置」が発令されました。そして例会の会場確保が難しくなり、初めて臨時役員会を ZOOM で行いました。

そして 2 月例会は日時。会場の変更をせざる得ませんが、しかし、頑張ってハイブリッドで行います。

1 月新年例会には鹿児島クラブの中堀清哲会長、園屋高志ワイズが ZOOM で参加頂きました。

ありがとうございました。



ブリテン担当 長尾 亘